

1年生の担任の先生に役立つ!

【発行日】 令和2年 5月13日  
【発行者】 茨城県教育庁総務企画部生涯学習課  
就学前教育・家庭教育推進室  
電話 (029) 301-5132

すくすく育て いばらきっ子



就学前教育・家庭教育推進室だより  
スタートカリキュラム実践臨時号



## 1年生が安心して学校生活をスタートできるように



今年度は4月から臨時休校が続き、各小学校では、子どもたちとどのように学校生活を再スタートできるのか模索する日々ではないでしょうか。そんな中ですが、令和2年度から完全実施となった新学習指導要領では、スタートカリキュラムの一層の充実が求められています。

今年度は、いつも以上に不安な気持ちで登校する子どもたちを和らげ、安心して過ごせる環境を整え迎え入れることができるように準備していきたいものです。令和2年度は、臨時的なカリキュラムになるかもしれませんが、できる限りスタートカリキュラムを実施するとともに、毎年だれが1年生の担任になってもスタートカリキュラムの取組を引き継いでいけるように、**学校全体で情報を共有しながら取り組んでください。**

### 今、新1年生との生活を再開する前にできること



#### ○ 幼児教育施設との引き継ぎ事項や、**保育要録**、**指導要録**等から**幼児期の児童の姿を知る**

幼児教育施設

個別の教育支援計画等(就学支援ファイル)  
保育所児童保育要録(写し)  
幼稚園幼児指導要録(写し)  
幼保連携型認定こども園園児指導要録(写し)

小学校

受け取った情報を小学校での指導に生かしましょう!

児童は、幼児期に好きな遊びに夢中になる中で様々なことを学び、成長してきました。小学校教育は0からのスタートではないのです。幼児期の育ちと学びを小学校教育に円滑に接続していくために、保育要録や指導要録等に目を通し、一人一人の幼児期の姿について理解することが大切です。また、そうすることによって、幼児教育施設の先生方の指導観を知ることができます。入学後の数日の様子から気になる児童や保護者については、幼児教育施設の先生に電話等で聞いてみてください。

#### ○ 学校全体で**スタートカリキュラム**について情報を共有する

初めて1年生担任となった先生の中には「『スタートカリキュラム』ってよく聞くけれど、何をしたらよいかまだよくわからない」という方も多いのではないのでしょうか。ぜひ、1年生との生活を再開する前に、スタートカリキュラムの実施内容を再確認するとともに、実践例等を参考にして、今年度の1年生に取り入れられそうなものを実践する準備をしてください。また、持続可能な取組となるように、保幼小接続コーディネーターを中心に情報や取組を学校全体で共有したり、保護者の方にも発信し理解を求めたりしていきましょう。

【参考資料】⇒目を通してください。

★茨城県保幼小接続カリキュラム ⇒茨城県教育委員会ホームページよりダウンロード可(冊子の配布も可能)

★文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 編著

「発達や学びをつなぐ スタートカリキュラム ~スタートカリキュラム導入・実践の手引き~」

⇒国立教育政策研究所のホームページよりダウンロード可

ここに書いてあることをベースに、それぞれの市町村や学校のスタートカリキュラムがすでに作成されています。再確認し、取り入れられることがあれば、参考にしてみてください。

○ 安心して学校生活を送り、主体的に学ぶ児童を育てていくために

■ 安心して学べる環境を整える

- ・見通しをもって活動できるような掲示物や、シンプルで分かりやすい教室環境を意識します。
- ・朝の活動、休み時間、給食や清掃の支援など、担任以外の先生や上級生と関わることで、みんなに見守られていることを実感できるようにします。(上級生が手伝う際は、身の回りのことは手伝いすぎず自分でできるように見守る支援を。幼児期に経験してきたことを生かせるように。)



■ 子どもの成長の姿や幼児期の経験を、学習活動や生活に生かす

- ・幼児期に親しんできた好きな歌、絵本、遊びやダンス、楽器や道具の使用など、活動の様子について事前に情報を収集し、学習や生活に取り入れるとよいでしょう。安心して活動や生活を楽しめるようにすることで、自分の力を発揮し、主体的に活動できるようになっていきます。

※ 昨年度の保幼小接続担当者研修で幼児教育施設の先生から教えていただいた手遊び歌の資料の一部をこの便りと一緒にメールで添付しています。ご活用ください。

■ 特別支援教育の視点から

「気になる子」への対応について配慮する

- ・1日の流れや予定を示す
  - ・心の落ち着く場所を作る
  - ・活動をわかりやすく、説明を明確にする
  - ・温かい言葉かけをする
- など一人一人を大切にした支援を

Check!

□ 時間割や学習活動を工夫する

- ・子どもの実態に合わせて、例えば10～15分程度のもジュールで時間割を構成したり、体験的・操作的な活動を取り入れたりする

□ 生活科を中心とした、合科的・関連的指導を意識する

- ・子どもが自らの思いや願いの実現に向けた活動を進めていけるようにする各教科のねらいを関連付けて考え、学習活動を構成するようにする

( 参考：茨城県保幼小接続カリキュラム )

スタートカリキュラム第2週の週案(例)

	第6日	第7日	第8日	第9日	第10日
日	4/〇(月)	4/〇(火)	4/〇(水)	4/〇(木)	4/〇(金)
朝	「なかよくなるう」※ ・手遊び ・お話しんで ・お話聞いて ・歌って踊ろう	「なかよくなるう」※ ・手遊び ・お話しんで ・お話聞いて ・歌って踊ろう	「なかよくなるう」※ ・手遊び ・お話しんで ・お話聞いて ・歌って踊ろう	「なかよくなるう」※ ・手遊び ・お話しんで ・お話聞いて ・本がたくさん	「なかよくなるう」※ ・手遊び ・お話しんで ・お話聞いて ・本がたくさん
ポイント1	「がっこうだいすき みんななかよし」 ・自己紹介をしよう (国1/3)	「あいうえおであそぼう」 ・ひらがな (国2/3)	「あいうえおであそぼう」 ・ひらがな (国2/3)	「がっこうだいすきなかよしいっぱい」 ・道具で遊ぼう (体「ゆうぐあそび」1)	「あいうえおであそぼう」 ・ひらがな (国2/3)
ポイント2	「くらべよう」 ・数を比べよう (算1/3)	「はるのがつこう」 ・こんにはは ・春と遊ぼう (生2)	「はるのがつこう」 ・リズムに合わせて 読もう(国1/3)	「10までのかず」 ・数えてみよう (算1)	「はるのあさ」 ・絵を見て数えよう ・数字を書こう (算1)
生活科を中心とした学習活動	「はるのがつこう」 ・こんにはは ・春と遊ぼう (生2)	「はるのがつこう」 ・こんにはは ・春と遊ぼう (生2)	「はるのがつこう」 ・こんにはは ・春と遊ぼう (生2)	「10までのかず」 ・数えてみよう (算1)	「10までのかず」 ・数えてみよう (算1)
ポイント3	「あいうえおであそぼう」 ・ひらがな (国2/3)	「あいうえおであそぼう」 ・ひらがな (国2/3)	「はるですよ」 ・みんな生きている (道1)	「はるのあさ」 ・工夫して読もう (国1/3)	「からだほぐし」 ・二人、三人、みんなで遊ぼう (体1)
教科等を中心とした学習活動	「なかよいだいきせん」 ・みんなでおしく 給食を食べよう	「なかよいだいきせん」 ・みんなでおしく 給食を食べよう	「なかよいだいきせん」 ・みんなでおしく 給食を食べよう	「あいうえおであそぼう」 ・ひらがな (国2/3)	「あいうえおであそぼう」 ・ひらがな (国2/3)
ポイント4	「くらべよう」 ・数を比べよう (算2/3)	「はるのがつこう」 ・こんにはは ・春のTシャツを作ろう (国工「はるとなかよし」1)	「はるのがつこう」 ・こんにはは ・春のTシャツを作ろう (国工「はるとなかよし」1)	「みんなであうおう」 ・わらべうたで遊ぼう (音1)	「みんなであうおう」 ・わらべうたで遊ぼう (音1)
ポイント5	「みんなであうおう」 ・知っている春の歌を歌おう (歌1/3)	「みんなであうおう」 ・知っている春の歌を歌おう (歌1/3)	「みんなであうおう」 ・知っている春の歌を歌おう (歌1/3)	「みんなであうおう」 ・知っている春の歌を歌おう (歌1/3)	「みんなであうおう」 ・知っている春の歌を歌おう (歌1/3)

※の時間については、授業時数以外の教育活動として位置付けたり、各教科等で実施したりすることが考えられる。(各教科等で実施する場合には、学習活動がその教科等の目標や内容を実現するものである必要がある。)

▲文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 編著

「発達や学びをつなぐスタートカリキュラム」より(ポイント1～4についてはそちらに説明があります)

「家庭教育応援ナビ すくすく育ていばらきつ子」

茨城県教育委員会では、家庭教育に関する学習機会と情報を提供するサイトを開設しています。コラムやQ&A、家庭教育支援資料など、コピーして学校だより等に掲載する等、ぜひご活用ください!

茨城県 家庭教育応援ナビ

で検索!

【QRコード】



応援ナビ



ツイッター

